

とせがわ

Public Relations of TOZAWA

巻頭
記事

平成30年度より供用開始
新保育所建設の経緯と概要

広報

No.543 2017年(平成29年)2月号

最上川舟下りと雪景色。

2

Feb

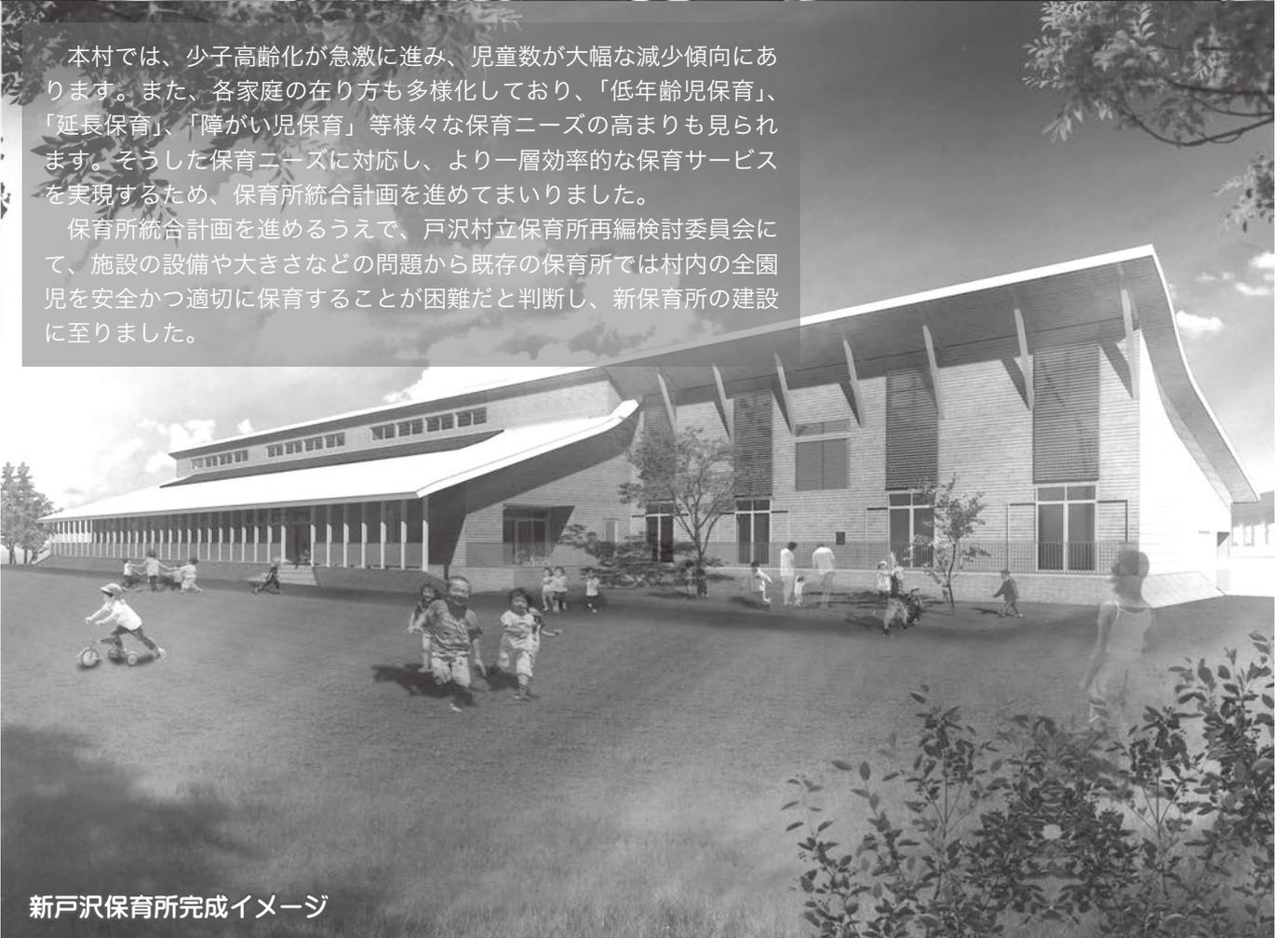


平成30年度より供用開始 新保育所建設の経緯と概要



本村では、少子高齢化が急激に進み、児童数が大幅な減少傾向にあります。また、各家庭の在り方も多様化しており、「低年齢児保育」、「延長保育」、「障がい児保育」等様々な保育ニーズの高まりも見られます。そうした保育ニーズに対応し、より一層効率的な保育サービスを実現するため、保育所統合計画を進めてまいりました。

保育所統合計画を進めるうえで、戸沢村立保育所再編検討委員会にて、施設の設備や大きさなどの問題から既存の保育所では村内の全園児を安全かつ適切に保育することが困難だと判断し、新保育所の建設に至りました。



新戸沢保育所完成イメージ

統合保育所の特徴

新保育所は、戸沢村の生涯学習拠点エリアに位置し、戸沢小中学校や若者総合施設など様々な施設と隣接することにより、保小連携の強化や保育環境の充実が図られます。

施設内に木材をふんだんに使用し、内装木質化を進めることで、快適でぬくもりのある空間を確保。さらに、施設利用者のストレスの緩和や集中力増進などの効果が期待されます。

児童にとって、保育所は一日の半分を過ごす学びの場であり、生活の場でもあります。耐震性や積雪時の施設の安全性の確保、防犯対策などにも配慮し、安心・安全な生活をサポートします。障がいの有無にかかわらず、施設を快適に利用可能な環境整備を行うことで、バリアフリー・ノーマライゼーションにも配慮しています。

0歳児も預けられます

新保育所では、低年齢児保育などの保育ニーズの高まりを受け、

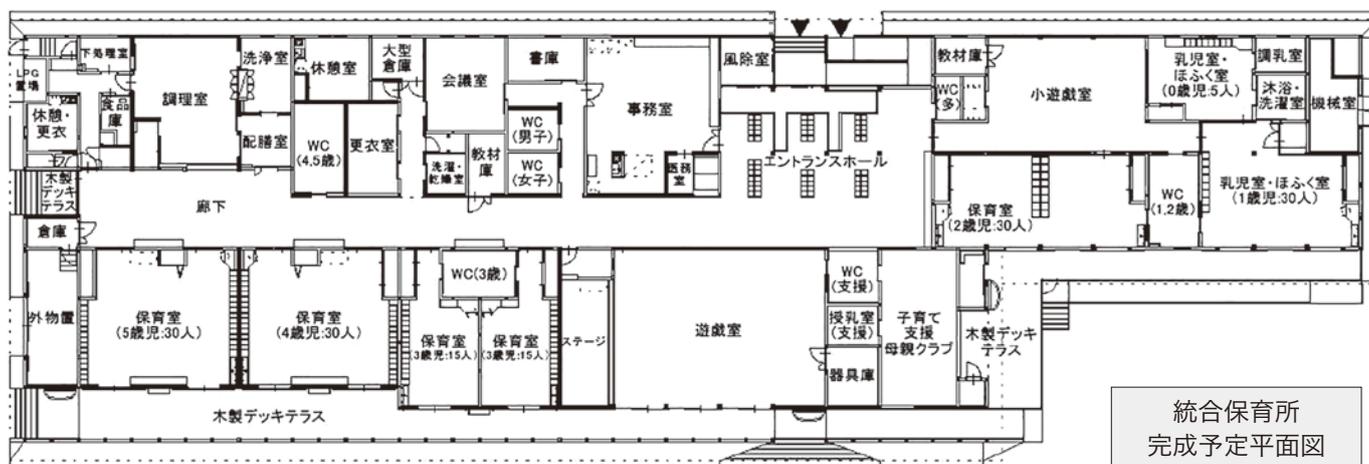
乳幼児（0歳児）の入所も可能になります。乳幼児が利用する乳児室には、沐浴室・調乳室を備え付けることで、適切な保育環境の整備が図られています。

子育て支援センター開設

新保育所内に、子育て支援センターを開設します。保護者による子育てに対する相談対応、子育て関連情報の提供などを行うことで、各家庭での良好な子育て環境づくりの手助けを行います。



エントランスホールイメージ



統合保育所
完成予定平面図

これまでの経緯と取り組み

平成23年5月

戸沢村立保育所再編検討委員会内（計4回開催）で、戸沢村立保育所再編検討委員会設置要綱を公布。

平成23年6月

保護者懇談会（神田、戸沢、古口、角川）を実施。

平成23年9月

4つの保育所を1つに統合する旨の審議結果を村長に提出。

平成23年10月

第2回戸沢村交通体系検討会議内で、今後の園児バス運行体制を協議。

平成25年8月

たんぼぼこども園（真室川町）、あたごこども園（最上町）、ほほえみ保育園（舟形町）視察研修。

平成26年12月

戸沢村立統合保育所新築基本設計コンペティション審査委員会を開催。

平成28年6月

統合保育所建設工事開始。



とぎわフォトコンテスト
2016 入賞作品

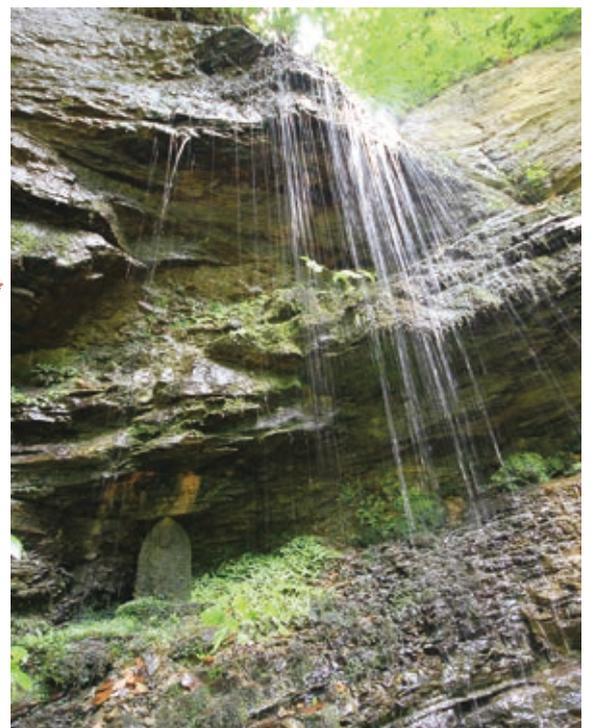
とぎわフォトコン **大賞** 「悠久の森」 増川 満さん

とぎわフォトコンテスト2016の審査が終了し、87点の応募の中から19点の入賞作品が決定しました。

広報とぎわではその中から、大賞1作品、優秀賞2作品、入選4作品、特別賞1作品、とぎわ歴史写真賞1作品を紹介します。



優秀賞 「雪化粧の最上峡」 山内義夫さん



優秀賞

「荒津沢不動明王」
富樫 馨さん



入選 「日の出前」 樽石良一さん



入選 「晩秋の最上峡」 三浦民雄さん



入選 「白蓮の里」 森 茂さん



入選

「幻想の森」 白田恭悦さん



特別賞

「泥んこビーチフラッグ」 鈴木英策さん



とざわ歴史写真賞

「まつりの若者たち」 奥山喜久雄さん



12月21日（水）、戸沢村役場にて表彰式が行われ、入賞者に賞状と記念品が贈られました。入賞者のみなさんおめでとうございます。

また、ご応募いただいたみなさんありがとうございました。またのご応募お待ちしております。



連合婦人会スキルアップ講座



今月の一枚



12月23日（金）、戸沢村中央公民館で婦人会会員による正月用のフラワーアレンジメント教室が行われました。

講師に新庄市ハナヤ花店の軽部さんを迎え、総勢35名でフラワーアレンジメントを楽しみました。皆さん正月に飾る花という事で、飾る場所を想像しながら真剣にオアシスに花を生けていました。

参加した方からは「来年もまたスキルアップ講座参加したい」という声もあり、次回の開催も楽しみにしているようでした。

若者目線で村おこし策を提起

12月26日（月）、戸沢中学校にて、3年生による「戸沢村への提言」が行われました。

戸沢村長をはじめ、多くの村の関係者が見守る中、人口減少対策や観光振興策など村おこしのための施策を独自の目線でプレゼンしました。

プレゼンを行った生徒からは「ふるさと納税の返礼品を住民から募るべき」、「農業体験施設をつくってみてはどうか」など多くの意見がだされていました。

戸沢村では、いただいた意見を参考にさせていただきながら、これからの村政運営を進めてまいります。



災害時ボランティア活動助成団体へ

12月27日（火）、ボランティアサークルとざわ（代表：柿崎英矢さん）が、公益財団法人大和証券福祉財団の「第6回災害時ボランティア活動助成」の対象団体に選出されました。

ボランティアサークルとざわは、東日本大震災で被災した地域を2011年から毎年訪れ被災地の復興支援活動を行っています。こうした活動実績が評価され、この度の受贈となりました。

受贈した助成金は、これからのボランティア活動に役立てられるそうです。

新教育委員に荒川氏

1月4日（水）、荒川香菜子さん（名高）が新教育委員に任命されました。

荒川さんは、これまで高校の非常勤講師や戸沢小学校の母親委員として活躍され、様々な教育活動に携わってきました。

これからは、戸沢村教育委員として、学校教育のみならず、生涯学習や文化、スポーツと幅広い分野で戸沢村の教育活動に関わっていただくこととなります。任期は、平成29年1月1日から平成32年12月31日までの4年間となります。





新たな年を祝して！「新春のつどい」

1月16日（月）、中央公民館にて、新春のつどいが開催されました。

当日は、戸沢村長をはじめ、村議会議員や村の関係者ら約70名が一堂に会し、新年の抱負を語り合うと共に、今年一年の飛躍を誓いました。

主催者である鈴木富士雄もがみ北部商工会戸沢支部長が「戸沢村の更なる発展を目指し頑張っていきましょう」とあいさつ。その後、高橋茂戸沢村地区会長連合会会長の音頭で乾杯が行われ、出席者はそれぞれ年頭のあいさつを交わしていました。

税の大切さを知る「租税教室」

1月16日（月）、戸沢小学校6年生を対象とした租税教室が行われ、税金の大切さや使い道について学びました。

戸沢村役場住民税務課の荒川悠さんが講師を務め、児童たちは、本物そっくりの見本の札束を触って「お金の重み」を体感。今回講習を受けた児童は「税金の大切さが分かった」、「大人になったらきちんと取めようと思った」などと感想を話していました。

まだ触れる機会の少ない税金について考える、良いきっかけになったのではないのでしょうか。



冬場の運動不足解消へ

1月21日（土）、南部地域振興センター（旧角川小中学校）にて、戸沢村ゲートボール協会会員によるゲートボールが行われ、参加者は楽しみながら体を動かしていました。

戸沢村ゲートボール協会では、高齢者の冬期間の運動不足解消のため、南部地域振興センターにて毎週ゲートボールを行っています。

ゲートボール協会会長の樋渡さんは「冬場は体を動かす機会が少なくなる。参加は自由ですので、運動不足解消のため、気軽に参加してもらいたい」と笑顔で話していました。

戸沢小学校・中学校より戸沢村に共同募金をいただきました。今回いただいた寄附金は社会福祉の分野で活用させていただきます。戸沢小学校・中学校のみなさん、ありがとうございました。



戸沢小学校・中学校より
ご厚意いただきました

戸沢村学校保健委員会だより「性といのちの学習」

戸沢村学校保健委員会では、継続して「心身ともにたくましい児童生徒の育成」をテーマに保健指導・保健管理を進めています。その中でも特に「性といのちの学習」を充実したものにすするため、毎年「いのちの教育講演会」を実施しています。

今年度は、小学校4・5・6年生とその保護者、中学校3年生を対象として、12月8日、酒田市立八幡病院で看護師・助産師をなさっている後藤敬子氏を講師に迎え、お話を聞きしました。学年の発達段階に応じて「赤ちゃんが生まれるまでのお母さんと胎児の様子」や「どれだけたくさんの方々の想いを受けて育ってきたか」といった内容を分かりや



すくお話ししていただきました。普段はなかなか向き合って話題にすることが人との関わりについて考え、しっかりと『いのち』と『感謝』の言葉を感ぜられたひとときとなりました。



〈子どもたちの感想〉

- 命は、たった一つしかない大切なもの。大切にしていきたい。
 - お母さんとお父さんに大切に育てられて友達と一緒に遊ぶことがうれしくなった。
- 〈保護者の感想〉
- 出産の時、おなかの中にいる時のことを思い出し、愛しくてたまらなかつたことを思い出しました。子どもが元気で頑張れるように支えていきたいと思いました。

CASSAN GEOPARK 月山ジオパーク構想

今年度もインバウンドツアーを実施します。

月山ジオパーク推進協議会では、1月31日～3月12日にかけて、昨年引き続き月山周辺地域の豪雪を活かしたインバウンドツアーを実施します。インバウンドツアーとは、日本国外からの観光客を対象にするツアーのことで、今回は、台湾、韓国、中国、タイなどから約400名のツアー客を月山周辺5市町村（鶴岡市・庄内町・西川町・大蔵村・戸沢村）に誘致することとなりました。

月山ジオパーク構想の一つのテーマは『雪』です。この『雪』は、私たちにとっては厄介なものです。降雪の少ないアジア圏の人たちにとってはとても珍しいものです。

昨年、台湾、中国、韓国、タイ、ベトナムを対象に実施したツアーアンケートでは、「ツアーで一番魅力を感じたものは？」という問いに対し、1位「雪」、2位「おもてなし・親切さ」、3位「食事」という結果が得られ、外国人にとって『豪雪』は、月山ジオパークエリアの最大の魅力であることが改めて確認されました。

雪遊びやスノーシュー（かんじき）トレッキング、スノーモービル体験などのアクティビティや、月の沢龍神まつり（庄内町）、雪旅籠の灯り（西川町）、地面出しワールドカップin肘折（大蔵村）など雪のイベントへの参加を一番の目玉としています。

さらに、月山周辺地域の文化にも触れてもらおうと、羽黒山五重塔の見学（鶴岡市）や最上川舟下り（戸沢村）、地元の酒蔵体験やそば打ち、餅つきなどが体験メニューに組み込まれており、月山の地域資源の一つでもある「雪」の魅力をもれなく満喫していただける内容となっております。

協議会としては、このツアーを現在検討を重ねているジオツアーの一つの契機として捉え、今後の事業展開につなげていきたいと考えています。



右代啓祐選手来村！五輪の経験を子ども達へ



1月13・14日（金・土）、「リオデジャネイロオリンピック十種競技日本代表 右代啓祐選手」による講演会・実技講習会が行われました。

講演会では、「あきらめない心くオリンピック選手になるまで」と題し、右代選手のこれまでのあゆみやリオオリンピックのお話、夢を叶えるために必要なことなどについて講演いただきました。以下、右代選手の講演内容になります。



たくさん失敗、悔しい思いをする

たくさんさんの失敗や悔しい思いは、成長の糧になる。私は、失敗したことや悔しいことがあれば毎回ノートに記入し、その時のことを忘れないようにしている。そうして分かった自分の弱い所を一つひとつ克服していくことが成長の最大の近道だと思う。

恐れずに挑戦する心

行動を起こさなければ何も起こらない。何事もまず挑戦してみることが大切。挑戦することでも+（成功）にも、-（失敗）にも、エネルギーが働く。+に働けばもつと高みを目指し、-に働けば+にするための努力を続けなければならない。

感謝の気持ち

私たちは、一人では生きることができない。今も家族や友人、先生など多くの人に支えられている。こうした環境が当たり前だと思ってはだめ。常に感謝の気持ちを持ち、自分の周りにいる人を大切にしてほしい。いつか自分の助けになる時がくるから。



▲14日に行われた実技講習会では、右代選手が実際に走高跳びやハードルを披露するなど子ども達と一緒に汗を流していました。

戸沢柔友会が躍動！

12月25日（日）、日本文理杯柔道大会が開催され、戸沢柔友会から2チームが出場しました。群馬県や新潟県から約75チームが出場する中、戸沢柔友会は、中学男子団体でベスト8、中学女子団体においては優勝を果たすことができました。





年末年始油断していたら、1月中旬の大雪ですっかり冬モードに切り替わりました！
さて、また今年も私の住む角川に山形大学のフィールドワークで大学生が来ました。一緒に冬の里山体験をしたり、太鼓を習ったりと、いろいろ感じてくれたようです。

地域おこし 協力隊 奮闘記 Vol.14



地域おこし協力隊
鈴木英策さん

また、私もその角川太鼓では今月二日に第54回全国中学校スキー大会の式典にて演奏させていただきました。
※私事ではございますが昔負った怪我が悪化したため、3月に手術を予定しております。そのため、3月一杯は協力隊の活動をお休みさせていただきます。田植えまでに間に合えます！（笑）



新刊図書紹介

気仙沼ミラクルガール

五十嵐 貴久

できなくていい。夢に向かって一歩でも進めればいい。それだけで、あたしたちは笑える。人は変われるんだ。二〇一一年秋、気仙沼にアイドルグループが誕生した。実話をもとにした笑い涙の感動ストーリー（幻冬舎HPより）



東京零年

赤川 次郎

殺されたはずの男が生きていた。電車のホームから落ちた生田目健司を救った永沢亜紀。二人が出会ったとき、運命の歯車が大きく動き始める。（集英社HPより）



小説・君の名は

新海 誠

山深い田舎町に暮らす女子高校生・三葉は、自分が男の子になる夢を見る。一方、東京で暮らす男子高校生・龍也、山



奥の町で自分が女子高校生になる夢を見る。やがて二人は夢の中で入れ替わっていることに気づくが！。出会うことのない二人の出逢いから、運命の歯車が動き出す。（KADOKAWA HPより）

本のススメ

～図書室から～ vol.45

くれよんの日

次回は三月六日（月）
夜七時から八時半まで図書室が開いています。
皆様のお越しをお待ちしております。



ることのできない物まで見えてきます。（福音館書店HPより）

本の時間

毎週木曜日、午後二時五十分～午後三時四十分の間、好きな本について語り合いませんか？

産業振興課からのお知らせ

戸沢村森林整備計画変更計画（案）の公告・縦覧について

全国森林計画の変更に伴い、戸沢村森林整備計画を変更します。森林法第10条の6の規定により、戸沢村森林整備計画を変更するにあたり次の通り公告し、戸沢村森林整備計画変更計画の案を縦覧に供します。

縦覧期間 2月1日（水）～3月2日（木）

縦覧場所 戸沢村役場2階 産業振興課 地域づくり推進係

意見の提出方法 案について意見がある場合は3月2日（縦覧期間満了日）までに意見書（様式自由）に住所、氏名を記入の上、産業振興課に提出してください。

問合せ先 産業振興課 ☎72-2527

ペレットストーブ相談会

やまがたみどり環境税を活用し、役場1Fロビーにペレットストーブを設置しました。この度、ペレットストーブに関する相談会を実施します。興味のある方はぜひご参加ください。

日 時 2月7日（火）14時～15時

場 所 戸沢村役場1F 待合ホール

問合せ先 産業振興課地域づくり推進係 ☎72-2527

農業委員・農地利用最適化推進委員を公募します

募集期間 平成29年2月6日（月）～3月6日（月）（郵送の場合も3月6日必着）

申込方法 募集用紙に必要な事項を記入の上、直接又は郵送で戸沢村農業委員会事務局へ提出

募集用紙については、次のいずれかの方法により取得してください

①戸沢村農業委員会事務局で直接受け取る

②HPから取得…戸沢村役場HPからダウンロードし、A4の普通用紙に印刷（感熱紙は不可）

農 業 委 員

農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に関する事項に関し、その職務を適切に行うことができる方を募集します。

募集人数 9人

団体等から推薦及び応募者の中から、認定農業者5人以上、利害関係のない者1人以上、女性や青年を配慮し選出します。

任 期 平成29年7月20日～平成32年7月19日

農地利用最適化推進委員

農業委員と共に地域で農地等の利用の最適化の推進に取り組む体制を強化するため、農業に熱意と識見を有する方を募集します。

募集人員 9人

団体等からの推薦及び募集者の中から選出します。

任 期 委嘱した日～平成32年7月19日

問合せ先

戸沢村農業委員会事務局 ☎72-2527（内線255）

教育委員会からのお知らせ

戸沢村教育振興修学資金について

社会に有為な人材を育成するとともに教育の機会に寄与することを目的として、「戸沢村教育振興修学資金制度」があります。

対 象 者 高校を卒業（予定）した者で、学校教育法に規定する大学及び村長が認める学校に進学し、次の要件に該当する方

①戸沢村に住所を有する子の子弟 ②学費支弁に困難と認められる者

③出身校又は在学校長の推薦する者

貸 与 額 医学部・歯学部・薬学部 月額5万円（6年以内） 大学・専修学校 月額3万円（4年以内）

申込期間 平成29年2月20日（月）～4月7日（金）

問合せ先 教育委員会 学校教育係 ☎72-3242

お知らせ版

～各種イベントや募集案内、各課からの連絡～

伝言板コーナー

「なんでも労働相談ダイヤル」

○相談期間

2月9日(木)～11日(土)

10時～19時

○相談電話

0120-154-052

○相談内容 解雇、賃金カット、未払い賃金等労働に関する相談

○相談費用 無料

「2017 蔵王スキーツアー」

○日時 3月12日(日) 6時40分

集合(中央公民館)

○場所 蔵王温泉スキー場

○対象 小学生以上の経験者から一般

○申込締切 3月3日(金) 12時

○申込・問合せ先

戸沢村中央公民館

☎7212304

「生活なんでも相談ダイヤル」

○相談期間

2月23日(木)～25日(土)

10時～17時

○相談電話

0120-3916029

○相談内容 生活に関することなら何でも可

○相談費用 無料

「平成28年度農業経営革新支援講座」

○日時 2月22日(水)

13時～16時30分

○場所 山形県高度技術研究開発センター

○募集人員 150名(先着順)

○申込締切 2月17日(金)

○問合せ・申込先

山形県立農林大学校研修部

☎2218794

「オールもかみ合同就職面接会」

○日時 2月23日(木)

13時30分～16時

○場所 ニューグランドホテル新庄

○内容 企業と求職者の個別面接

○企業 最上地域の企業約20社

○問合せ先

最上地域雇用創造推進協議会

☎2316212

「スノートレッキングin陣峰市民の森」

○日時 2月25日(土)

○場所 陣峰市民の森(新庄市)

○対象 小学5年生から一般の方

まで

○募集人員 30名

○申込締切 2月10日(金)

○問合せ・申込先

神室少年自然の家

☎6212611

「平成28年度在宅医療推進事業」 「在宅での食支援に必要な視点」

○日時 3月11日(土)

13時30分～

○場所 特別養護老人ホーム みのりの大地

○対象 在宅介護をしている方、医療・介護関係者など

○申込・問合せ先

医療法人徳洲会新庄徳洲会病院

☎2313434

「2017やまがた産業・企業就職ガイダンス」

○日時 3月19日(日)

10時30分～

○場所 東京都立産業貿易センター 1台東館4階展示室

○対象 平成30年3月卒業予定の学生、既卒者、UIJターン希望者等

○問合せ先 山形県商工労働観光部雇用対策課

☎02316302375

「第5回 ゆめりあ上映会」

○日時 2月26日(日) 13時～

○場所 ゆめりあ ホール・アベージュ

○入場料 無料

○問合せ先

最上広域交流センターゆめりあ

☎2818888

「ふれあい看護体験」参加者募集

病院や福祉施設で患者さん達とのふれあいを通して、命や医療、看護について考えてみませんか。

期 日 5月7日(日)～5月20日(土) 体験施設 県内の病院や診療所、福祉施設など

応募方法 (1) 高校生は学校を通じて申し込む

(2) 高校生以外の方は下記の内容をはがきに明記し申し込む

①住所 ②氏名 ③性別 ④年齢 ⑤職業または学校名 ⑥電話番号

⑦希望施設名・希望実施日 ⑧白衣サイズ

申込期間 2月6日(月)～2月24日(金)まで

申込・問合せ先 山形県看護協会「ふれあい看護体験」担当 ☎023-685-8033

自動車の検査・登録手続きはお早めに！

例年、年度末は自動車の検査や登録の手続きが集中し、窓口が大変混み合います。

自動車の継続検査（車検）や、移転登録（名義変更）、末梢登録等の登録手続きは、お早めにお済ませください。登録手続きに必要な書類等の案内は、山形運輸支局のホームページのご利用が便利です。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/yg/yg-index.htm>
山形運輸支局 ☎050-5540-2013

石綿による疾病の補償・救済

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿ばく露作業に従事していたことが原因であると認められた場合は、労災保険法に基づく各種の労災保険給付や石綿救済法に基づく特別遺族給付金が支給されます。

心当たりのある方は、山形労働局または最寄りの労働基準監督署へご相談ください。

山形労働局労働基準部労災補償課 ☎023-624-8227

放送大学学生募集について

○BS放送やインターネットを使って自分のペースで学べます。 ○1科目だけでも入学できます。
○一流の講師陣とテキスト。 ○学習センターで学ぶ講師による面接授業。

募集期間

第1回募集 ～2月28日（火） 第2回募集 3月1日（水）～20日（月）

問合せ先 放送大学山形学習センター ☎023-646-8836

やまがた創生の幹となる「フル規格新幹線」 奥羽・羽越新幹線の早期実現を！

政府が定めた本県の新幹線構想

政府では、国土の総合的な発展に資するものとして、フル規格新幹線の路線を定めた基本計画を昭和47年と同48年に策定しています。このうち、昭和48年の基本計画に、本県を通るフル規格新幹線として「奥羽新幹線」（福島市～秋田市）と「羽越新幹線」（富山市～青森市）が定められています。

フル規格新幹線とは、主な区間を時速200km以上で走り、踏切を設けない直線的なルートによる新幹線で、速達性の向上のほか、雪などの輸送障害にも強く、高い安全性、安定輸送が期待されます。

今こそ求められるフル規格！！

東北大震災では、太平洋側の鉄道に代わり、日本海側の鉄道が東北と首都圏や西日本とを結ぶ重要な役割を果たしました。こうした経験を踏まえると、日本海側の奥羽・羽越新幹線の整備によって高速交通ネットワークのリダンダンシー（代替）機能を確保することが非常に重要です。

また、昭和47年に基本計画に位置付けられた九州、北陸、北海道の各新幹線は次々とフル規格で開業し、首都圏などとの移動時間が短縮され、観光客が増加しているほか、観光客の行動範囲も広がる傾向にあります。

このようにフル規格新幹線を整備は、沿線地域に幅広く交流の活性化をもたらすと期待されるため、戸沢村としても整備実現に向け、取り組みを展開していきます。



発表された提言の中には、「ネットを活用した村のPR」や「働く場の創出」など、村に住む若者の視点での意見も多々みられ、これからの戸沢村を担う「若者目線」での意見の大切さを感じたところでした。

そこで、いろいろな生徒の意見・考え方を聞いてきたのですが、戸沢村の現状や将来について本気で考え、村の関係者へプレゼンしている姿が印象的でした。

今月は、戸沢中3年生による「村への提言」の取材に行ってきました。

編集者の
コラム
Vo.58



お誕生日おめでとう!!

満一歳児(12.1月生まれ)

村の将来を担う子どもたちの健やか成長をお祝いするとともに、これからも元気で育てほしいとの願いを込めて、戸沢村の満一歳になる子どもさんを紹介します。今月は、12、1月に満一歳を迎えた子ども達です。

(①ご両親の名前
②地区名 ③ご両親からお子様へのメッセージ)



高橋まひろちゃん



12月19日
生まれ

- ①高橋 裕也さん
あゆみさん
- ②神田
- ③これからも元気
いっぱい大きく
育ててね!

とうま 門脇 桐馬くん



12月24日
生まれ

- ①門脇 彩人さん
葵さん
- ②名高
- ③名前にある「桐」
の花言葉通り気
高く立派に、友
達は沢山つっ
てほしいです。

きょうすけ 西嶋 恭佑くん



1月28日
生まれ

- ①西嶋 信一さん
亜矢子さん
- ②古口
- ③いつも笑顔で明
るく素直な子に
育ててね☆

平成 29 年 1 月 1 日発行の「広報とざわ 1 月号」の記事『年頭のあいさつ』において、誤りがございました。

■ 2 頁 16 行目文頭、「来年度より」は、正しくは「平成 30 年度より」です。

以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

戸沢村役場総務課

村の人口と世帯
(12月末現在)

4,846人(−18人)〈男2,327人(−6人)、女2,519人(−12人)〉1,639世帯(−13世帯) ※ ()内の数値は、11月末との比較



表紙のことば

表紙は、最上川舟下りの一コマです。この時期は、雪化粧をした最上峡と白糸の滝の絶景を臨みながらの舟旅を楽しむことができます。戸沢村の冬の風物詩「こたつ舟」で優雅なひとときを過ごしてみませんか？

編集・発行

広報とざわNO.543

発行日 平成29年2月1日

編集・発行 戸沢村総務課

山形県最上郡戸沢村大字古口270

TEL 0233-72-2111

FAX 0233-72-2116

URL <http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/>

(パソコン及び携帯共通)

E-mail: tozawa@vill.tozawa.yamagata.jp



URL



メールアドレス